

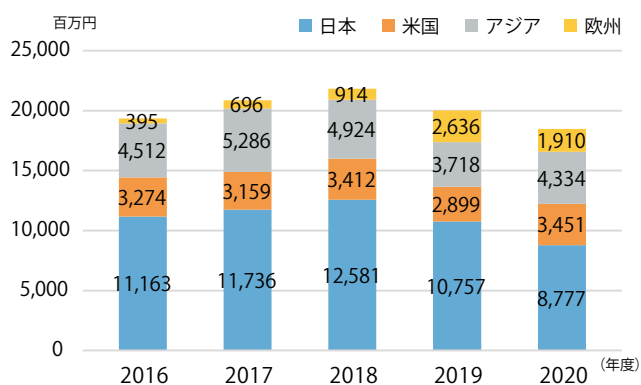
# セグメント情報

## ◆セグメント別の売上高・営業利益・受注高

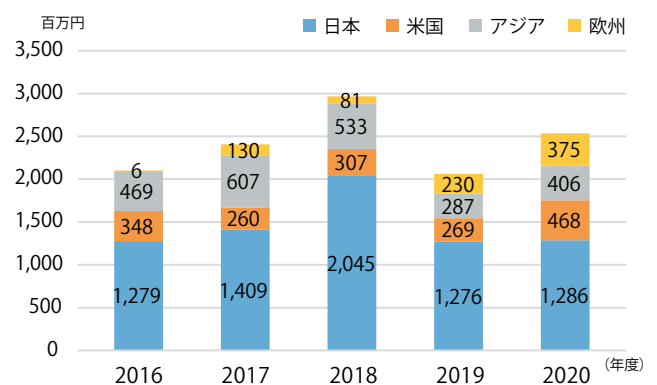
当社は、取出口ロボット及び省力化システムを含めた周辺機器の開発、製造、販売及びアフターサービスを行っており、国内においては当社が、海外においては北米、アジア（韓国、台湾、中国、インドネシア、ベトナム、マレーシア、タイ、インド）、欧州（イギリス、ドイツ）の各地域をYUSHIN AMERICA, INC.（米国）、YUSHIN KOREA CO., LTD.（韓国）、YUSHIN AUTOMATION LTD.（欧州）及びその他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域の戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造・販売及びアフターサービス体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「アジア」及び「欧州」の4つを報告セグメントとしております。

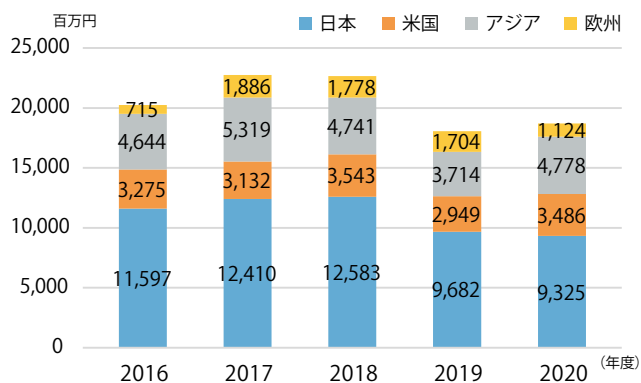
セグメント別外部顧客への売上高



セグメント別営業利益



セグメント別受注高



セグメントごとの2020年度の経営成績は以下のとおりです。

- 〈日本〉 コロナ禍による設備投資の抑制があり販売が低調であったため、売上高は前期比9.6%減の13,337百万円となりましたが、営業利益は前期比0.8%増の1,286百万円となりました。
- 〈米国〉 検査キット等医療関連での販売が伸びたため、売上高は前期比18.8%増の3,460百万円となり、営業利益は前期比74.1%増の468百万円となりました。
- 〈アジア〉 中国での設備投資が下期以降増加し販売が伸びたため、売上高は前期比14.5%増の4,582百万円となり、営業利益は前期比41.4%増の406百万円となりました。
- 〈欧州〉 医療向け特注機の売上が減少したため、売上高は前期比27.4%減の1,914百万円となりましたが、営業利益は前期比62.8%増の375百万円となりました。